

香取小江戸マラソン大会 参加者募集

香取小江戸マラソン大会実行委員会
事務局(生涯学習課内) ☎(50)1221

香取神宮をメイン会場に17部門で行われます。1997年世界選手権(アテネ大会)女子マラソンで優勝した鈴木博美さんと、ものまねアスリート芸人 M高史さんが一緒に走ります。

■日時 12月13日(日) 9時開会式
9時40分競技開始

■場所 香取神宮 駐車場(受付・式典)

■種目 10km(一般・高校)、5km(中・高校・一般)、2km(小学生・親子)

■参加費 一般3,500円、親子・高校生2,000円、小中学生1,000円

■参加賞 長袖Tシャツ

■定員 4,000人

■申込 次のいずれかで申し込みください(先着順)

郵便振替

9月1日(火)から30日(水)までに、大会申込書に必要事項を記入し、参加費を添えて申し込み

インターネット

9月1日(火)から10月5日(月)までに次のホームページにアクセスして申し込み

○スポーツエントリー

<http://www.sportsentry.ne.jp>

○ランテス

<http://www.runnet.jp>

▶サマーコンサート(山田公民館)



▶小見吹揃いの夏のユニフォームで



指導者になってどうでしたか?
初任地の八都中では、吹奏楽部の顧問になったものの、部員は0人。そこで放課後楽器を吹いて、何とか11人の部に。町民運動会で地域の方に喜ばれたことで、皆一生懸命になりましたね。子どもたちの真っ直ぐな思いが伝わり、3年目にはTBS子ども音楽コンクールで日本一に。積み上げたものは必ず形になる、ということが身に染みしました。

どこが変わったのでしょうか?
それまで2時間かけてやっていたことを1時間でやる。工夫を重ねることで生徒たちは今まで以上に達し、コンクールで日本一という結果で応えてくれました。また、近隣の中学校と

協力し、合同演奏会を立ち上げました。今も続くこの合同演奏会は、横のつながりがすごく面白く、生徒も教師も、お互いの力を高める場になっています。さらに小見川中時代、校長先生のアドバイスにより、中高と社会人の合同演奏会を企画しました。継続的に子どもを伸ばす、縦のラインが出来たんです。

小見吹でも活躍ですね
昭和52年の創団後しばらくして参加しました。最初は倉庫で練習することもあり、ビール箱で作った舞台上で演奏会を行いました。今ではホールで、教子やその子どもたちと舞台上に上がれることが幸せです。また最近、指揮者として音楽の面白さを再発見でき、これから本格的に編曲にも取り組みたいと思っています。

ブカツー信

II

vol.19

中学校部活紹介

佐原第三中学校

バスケットボール部男子



チームの心をひとつに

私たちバスケットボール部は、総勢23人で活動してきました。現在は12人と少ない人数ですが、みんな



▲大会でのプレーの様子

で声をかけ合いながら協力して行っています。今年度で閉校なので、最後の年をチーム一丸となって闘えるように、日々の練習を大切に頑張ります。



疾風堂々 目指せ自己新!!

私たちは、全国大会を目指し、一丸となって元気に活動しています。朝練習は、基礎トレーニングを行い、放課後は、短距離(ハードル、走幅跳び、走高跳び)・長距離種目に分かれて練習をしています。自己ベストを目指し、頑張っています。



▲県通信4位入賞

栗原中学校

陸上競技部

かとり

平成27年(2015)9月1日号 No.227

編集 香取市役所総務企画部秘書広報課
〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127
TEL 0478-54-1111 FAX 0478-52-4566
<http://www.city.katori.lg.jp>

人口と世帯

8月1日現在(前月比)

計/80,419人(-43)

男/39,856人(-2)

女/40,563人(-41)

世帯数/30,509世帯(+33)

美しい指運びと澄んだ音色に、海を渡った古箏の物語の情景が目につかびました。(N)

演奏するウー・ファンさんの笑いを誘っていました。遣唐使の藤原さんが「と」言っていて、それを聞いた南こうせつさんが「藤原さんっていうと近所の人みたいで、なんか変だなあ」と、会場の笑いを誘っていました。



音楽が日常になる街に

小見川吹奏楽団 指揮者

まえだ しゅんすけ
前田 俊輔 さん
(野田)

プロフィール

元中学校理科教諭。旧山田町立八都中学校に着任以来、山田中、小見川中、八都小、佐原二中など、38年間の教職生活の大半は現香取市内の中学校、小学校に勤務。その間、吹奏楽部の顧問として生徒たちを数たびコンクールで日本一に導く。また、社会人バンドの小見川吹奏楽団の一員として音楽活動を続け、学校と地域の懸け橋としても活躍。今春退職し、今は小見吹の活動と共に地域の中学校吹奏楽部の指導に出向く毎日。

編集後記